

おたがいさまニュース

第6号 2015.12.15
発行：南医療生協
おたがいさま運動推進委員会
地域ささえあいセンター
052-625-0650 (Fax0653)

729のおたがいさま サポーターが活躍しています

- ・組合員さん他 340名 他 1名
- ・職員 388名

☆おたがいさま シート数 423件
シート 内2015年度117件



おたがいさま事例

「認知症があり、曜日の感覚がありません。ゴミだしの日に声をかけてあげてください」

11/19におたがいさまシートが出され、ほしぎきボランティアの会で対応することを決め、ボランティアさんがさっそく声をかけに行かれました。

すると、お隣さんが声をかけてくださっていました。ほっとひと安心です。ご近所での助け合いができていますこと確認できました。

そういう地域に「再生」することが、安心な暮らしにつながります。

ラフちゃんのその後

南生協病院に救急搬送された女性が飼っていた「ラフちゃん」。今はやさしい飼い主さんに、シャンプーもしっかりしてもらえて、幸せな日々をすごしています。

現在、2匹の猫の飼い主を探しています。



ほっとけん

おたがいさま運動のステッカー表示をすすみましょう。

- ① おたがいさまサポーターさんの家には、「こまったときはおたがいさまの家」
事業所や各部署でも、「こまったときはおたがいさまの家」
- ② サロンでは、「こまったときはおたがいさまサロン」
- ③ 外部団体で協力してくださる事業所には、「こまったときはおたがいさま」

②と③のステッカー表示をした情報をお知らせください。

12月のおたがいさまシート あ・れ・こ・れ

くらしの不安

介護が必要な方の通院時に手助けが必要

- ・ご主人が車椅子・奥さまも終末期の状態。

→組合員さん自身が困りごとを発見され、その後、奥さまも生協病院の緩和ケアに入院する支援もされました。

受診・治療に関すること

他院で骨折で入院したが、転院先にこまっている

→組合員さん自身がかなめ病院への転院を支援されました。